

第3章



計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

子どもが自分らしく安心して暮らせるまちを
みんなで創り出す

町田市で育つ子どもの未来が輝かしいものとなるよう、地域も含めて市全体で子どもの育ちや子育てを支援していくという考えのもと、「新・町田市子どもマスタープラン」の基本理念「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す」を本計画の基本理念として継承します。

2 基本的な視点

発達に支援が必要な子どもを含むすべての子どもの個性が尊重され、心身ともに安全で健やかな成長を実現するため、「新・町田市子どもマスタープラン」の基本的な視点を本計画においても継承します。

◇ 一人ひとりの子どもの権利実現

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者に関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害がおきた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

◇ 子どもと親がともに成長する

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまでは、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組みられてきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、ともに成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切に、その場だけの助け合いや連携に止まらず、地域での子育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりをし、子どもも親も地域の人々とともに、成長し合うことが必要です。

◇ 地域の中で家族を孤立させない

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることはとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

◇ 市民（子どもと大人）と行政の協働を進める

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることとの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

3 基本目標

障がい等の有無に関わらず、すべての子どもが共に成長できるよう、地域社会への参加や包容（インクルージョン）を推進するため、新・町田市子どもマスタープランに掲げる3つの基本目標を継承し、本計画を推進します。

基本目標Ⅰ

子どもが健やかに育ち、
一人ひとり自分の中に光るものを持っている

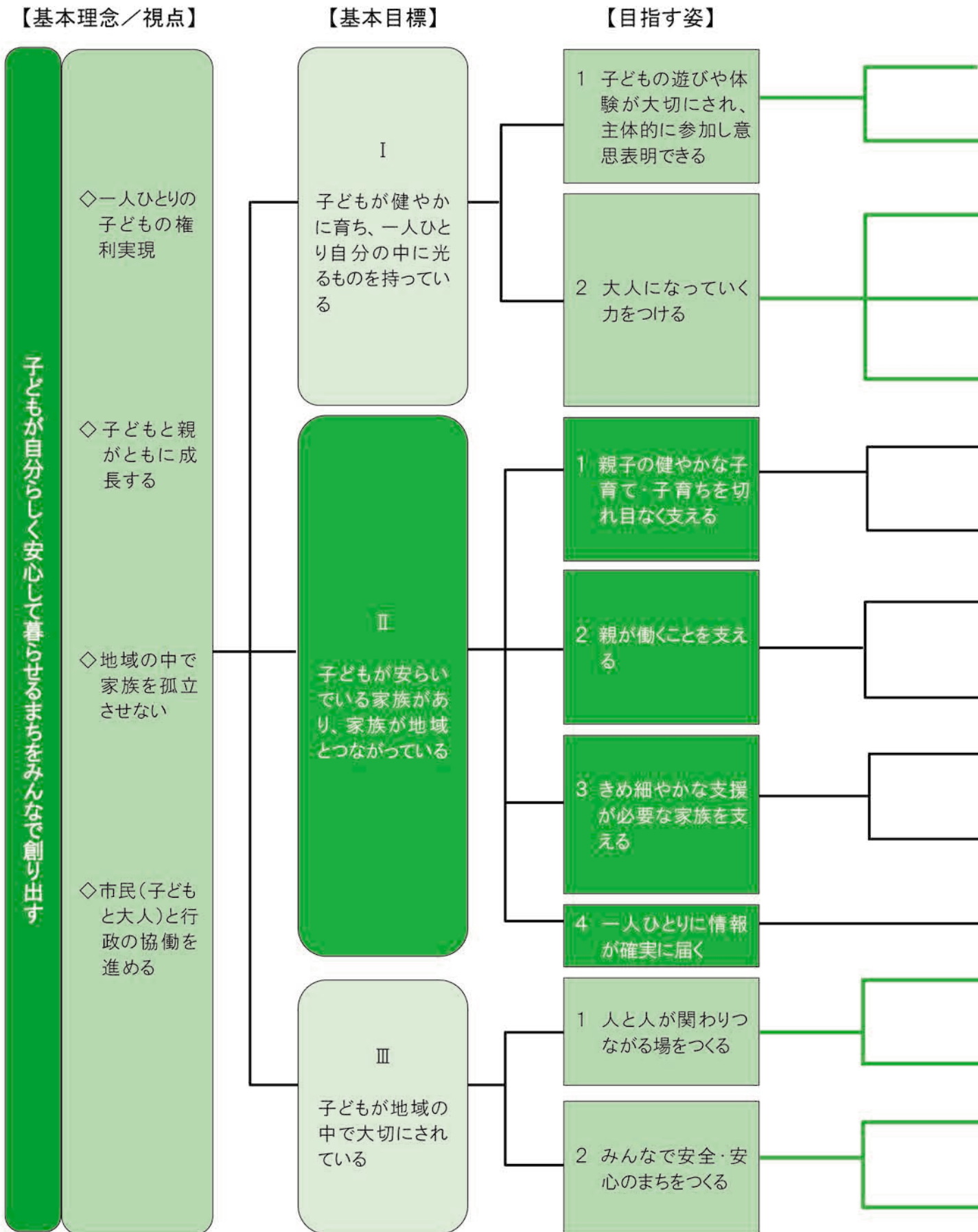
基本目標Ⅱ

子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

基本目標Ⅲ

子どもが地域の中で大切にされている

4 施策の体系



【基本施策(施策の方向)】

I-1-(1) 豊かな人間性や社会性を育む場の確保

I-1-(2) さまざまな活動への参加の支援

I-2-(1) 子どもの特徴に応じて大人になる力を伸ばす療育の充実

I-2-(2) 「生きる力」をバランスよく育む教育環境の整備

I-2-(3) 子どもの成長に対する継続的な支援

II-1-(1) いきいきと自信を持って子育てするための相談支援の充実

II-1-(2) 子どもと向き合いながら自分らしい子育てをするための親の理解の支援

II-2-(1) 不安や負担を抱え込むことなく子育てするための保育制度の充実

II-2-(2) 不安や悩みに寄り添った教育・保育サービス等の充実

II-3-(1) 重症心身障がい児や医療的ケア児の家族が地域の中で安心して生活することへの支援

II-3-(2) 特別なニーズのある家族への支援

II-4-(1) 必要とするときに必要な情報を得るための情報提供の充実

III-1-(1) 親同士が関わり、つながることへの支援

III-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことの支援

III-2-(1) 地域全体で支えるための障がい等に対する理解の促進

III-2-(2) 子どもを連れて容易に外出でき、快適に生活できるまちづくりの推進

町田市子ども憲章(1996年5月制定)

みんな自分に素直に生き

そしてお互いを認め合うそんな社会へ・・・

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。

そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

・人権尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけはいけない。

－ 相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

・自主性の確立

「自分から」。それが一番大切なこと。人にやってもらうばかりではだめなんだ。いつも楽しくなるように、

－ 自分の道は自分で切り開いていきます。

・個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違ってこわくない。当たり前なことなんだ。だから、

－ それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

・命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから

－ みんなで助け合って生きていきます。

・学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。

－ ものごとに前向きに取り組んでいきます。

・友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、そんな仲間。だから、

－ 仲間を大切に続けます。

・夢を追う気持ち

現実にとらわれなくてもいい。わずかな可能性でも、

－ 自分の夢を持ち続けます。